

首都圏

ストップ 暮らし 破壊

2017年1月7日(土曜日)

広域化で標準保険税率適用

埼玉県が試算
国民健康保険の広域化で
住民負担が増える。2018年度の国民健康保険(国保)の都道府県化(広域化)に向けて昨年12月に開かれた、第1回埼玉県国保運営協議会(会長・伊藤善典県立大学教授)で県が試算を示しました。統一して算定方法による標準保険

税率を適用した場合、市町村によっては保険税額が最大7割増になるとしました。

都道府県と運営

現在の国保の運営主体は市町村ですが、法改定により18年度から都道府県と市町村の共同運営になります。都道府県は統一的な運営方針の策定や市町村ごとの標準保険税(料)率の算定・公表などを行います。市町村は、国保証交付や国保税徴収など從来の業務を担い、独自の税率設定などを行えますが、都道府県

埼玉県が試算
国民健康保険の広域化で
住民負担が増える。2018年度の国民健康保険(国保)の都道府県化(広域化)に向けて昨年12月に開かれた、第1回埼玉県国保運営協議会(会長・伊藤善典県立大学教授)で県が試算を示しました。統一して算定方法による標準保険

税率を適用した場合、市町村によっては保険税額が最大7割増になるとしました。

国保税最大7割増に

「文科相は、実際に千葉県立柏特別支援学校を視察し「現場の苦労がわかった」。最初の国会質問で、特別支援学校の教室不足問題を取り上げました。

「視察に行く」と答弁した文科相は、実際に千葉県立柏特別支援学校を視察し「現場の苦労がわかった」。

この問題は、国会でも千葉県議会や市議会でも繰り返し、わが党議員が実感してきました。まさ

った」「必要な支援をする」と話し、学校施設の予算が削られる中、優先

して予算がつきました。

この力が、国会質問に迫力を与え、政治を動かす原動力となるのだと

る。その力が、国会質問には、11月15日に1300人の「オスプレイ」集会を超党派で成功させた住民の力、県

民の切実な要求をつかみ、改善のために地方議會」を申し入れました。

県と市の機敏な動きの背

景には、11月15日に1300人の「オスプレイ」集会を超党派で成功させた住民の力、県

民の切実な要求をつかみ、改善のために地方議會」を申し入れました。

(比例南関東で)21番目

で当選させていただいた

力です。この党を強く大

きく、必ず再選を勝ち取

るために全力で頑張ります。

さを痛感する日々でした。

廻し実現 講演の価値感

数えきれない地元問題

ました。

仕事始めの人たちに訴える、さい

う衆院議員(中央)=4日、千葉

県見する渡辺さん(中

央)ら原告=5日、埼

玉県庁記者クラブ

平均でも3割増

標準税率について県は、「国保会計が赤字にならないよう設定されたもの」と説明し、市町村が行っていられる国保会計への一般会計からの法定外繰り入れは除かれています。そのため、繰り入れが多い市町村ほど国保税の増加分が大きくなっています。

運営協議会に示された試算は、市町村が県に納める事業費納付金(現制度の拠出金)と、標準税率を当てはめた場合の1人当たり国保税額です。

国保税額は、市町村平均で3%増となり、增加分が



第1回県国保運営協議会
昨年12月27日、さいたま市

大きい上位自治体では65%増、下位自治体でも50%増と負担が増えます。

標準税率について県は、「国保会計が赤字にならないよう設定されたもの」と説明し、市町村が行っていられる国保会計への一般会計からの法定外繰り入れは除かれています。そのため、繰り入れが多い市町村ほど国保税の増加分が大きくなっています。

運営協議会に示された試

算は、市町村が県に納める

事業費納付金(現制度の拠

出金)と、標準税率を當て

はめた場合の1人当たり国

保税額です。

国保税額は、市町村平均

で3%増となり、增加分が

赤字(繰り入れ)を解消

になります。

県が提案した運営方針骨

子案では、「当面、統一の

保険税水準としない」とし

ていますが、「将来のめざ

すべき課題」としていま

す。繰り入れについて県は

「市町村の判断」としつつ

赤字(繰り入れ)を解消

します。

県社会保障推進協議会の

川嶋芳男事務局長は「繰り

入れは高すぎる国保税を抑

え、住民の健康と命を守る

積極的意義を認めず、削減

するなどとあります。

県社会保障推進協議会の

川嶋芳男事務局長は「繰り

入れは高すぎる国保税を抑

え、住民の健康と命を守る

積極的意義を認めず、削減

するなどとあります。